

中国と更なる交流 町民有志中国友好協会設立

中国黄山市との更なる交流を目的に、洞爺湖日本中国友好協会の設立総会が、3月24日役場防災ホールで開かれました。



洞爺湖日本中国友好協会設立総会

総会では、民間レベルでの文化、経済の交流を進めることや町民への会員拡大を確認しました。

町は、平成21年7月に洞爺湖と中国安徽省黄山市の太平湖との間で「友好湖」を締結し、人的交流を進めてきました。こういった交流を更に発展させ、同市との友好都市提携や経済的交流を推し進めようと町民有志が、同協会を設立したものです。

総会では、訪問団の受入れや派遣、在町中国人研修生との交流など、平成23年度の事業計画を決め、前町長の長崎良夫氏を会長に選出しました。

3月30日「北海道の観光を考える」（主催洞爺湖観光協会）と題する講演会が、あかん遊久の里・鶴雅社長で観光カリスマの大西雅之氏を講師に招いて、役場防災ホールで開かれました。郷土力を生かした実践的な宿づくり・町づくりについて、旅館、ホテル関係を含めて約150人が、熱心に聞き入りました。

大西氏は「数を追っていくと郷土の宝を失っていく」と述べ、数のマジックに翻弄されることなく、郷土力を生かした、町が一体となった観光地づくりの大切さを訴えました。



熱心に聞き入る参加者ら

郷土の魅力を観光プランに 観光カリスマ大西氏講演会

3月31日、平成22年度洞爺湖体育協会表彰式が、あぶたふれ合いセンターで開かれ、阿部里美さん（温4区）と長谷川幸子さん



阿部 里美さん 長谷川 幸子さん

（虻6区）が功労賞を受賞しました。

二人は、共に洞爺湖町バレーボール協会理事として、バレーボールの普及並びに底辺拡大に尽力。

阿部さんは、永年事務局員として、IT機器による外部との連携連絡など同協会の運営を下から支えました。

長谷川さんは、協会役員の傍ら、ママさんバレーの選手、審判員として同協会の活動に貢献しました。

平成22年度洞爺湖町体育協会表彰式 阿部さん、長谷川さんに功労賞

農業の持続的発展へ 洞爺湖町地域農業再生協議会設立

農業所個別所得補償制度の普及、推進活動を主な事業とする洞爺湖町地域農業再生協議会の設立総会が、3月



農業の持続的発展に向け設立された地域農業再生協議会

31日、役場で農業団体や関係者が参加して開かれ、規約や平成23年度事業計画を確認しました。

同協議会は、所得補償制度が、米以外の畑作物にも範囲が広がることから、「水田農業推進協議会」を発展解消したもので、農業者の経営安定など農業の持続的な発展をめざして設立されました。

総会では、農業者個別所得補償制度の推進、担い手育成・確保支援活動など6項目についての事業計画確認。会長には、吉田茂副町長が選任されました。